



最近の肝臓治療について

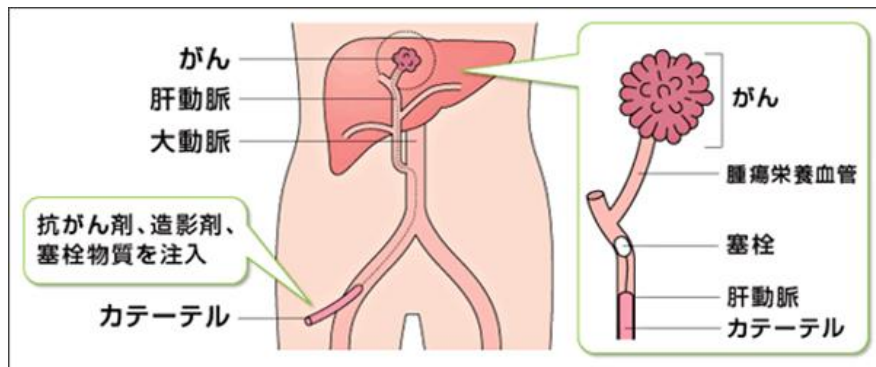
消化器内科 阿座上 隆広

肝臓(HCC)は、従来わが国ではC型やB型のウイルス感染由来のものが9割を占めていましたが、近年これらウイルス性肝炎の多くが治癒もしくは制御可能になりました。

一方、非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)をはじめとした非ウイルス性の肝疾患は増加傾向にあり、最近の統計では肝臓のうち非ウイルス性の肝疾患由来のものが3~5割を占めるまでになっています。

治療法については、外科的な切除をはじめいろいろな治療がありますが、今回は内科で担当する治療のうちから肝動脈化学塞栓療法(TACE)と最近進歩が著しい全身化学療法との関係を中心に説明します。

肝動脈化学塞栓療法は、根治的治療ができない多くの患者さんで行われる治療です。方法は、カテーテルを右鼠径部から腹部大動脈を経て肝動脈、さらに肝内の区域動脈と進めて肝臓に抗癌剤と塞栓物質を投与します(図)。日本で治療法が発達し世界に発信して来た肝臓治療でもあります。



肝臓の全身化学療法には近年大きく進歩がみられます。全身化学療法は現在6種類のレジメンが使用可能ですが、実際は「アテゾリズマブとベバシズマブの併用」と「レンバチニブ」が最も多く用いられています。

全身化学療法は副作用がしばしば観察されますので、投与期間においては患者さんご自身のセルフケア能力も重要です。一方 肝動脈塞栓療法は治療と治療の間の数か月は症状freeで過ごしていただけることもあります。なお、いずれの治療も基本的には根治を得られる治療ではありません。これらの特性を鑑みて、当科では患者さんご本人とよく相談した上で治療選択することを心がけております。

勿論 外科との協力にて手術療法や、他の根治的治療も行っております。この記事をご覧の方においては今後とも肝臓治療に無関係でおられることを願っておりますが、ご家族やお知り合いに肝臓でお困りの方がおられましたら呉共済病院のことも思い出してみてください。

—病院の理念—

- 高度・良質の医療
- 最善の奉仕
- 研鑽と協調
- 地域医療の支援

—病院の基本方針—

- 一 良質で適切な医療の提供に努めます
- 二 患者さんの権利を尊重し、患者さんの満足・安心・信頼を追求します
- 三 新しい知識と技術を積極的に習得し、常に質の高い先進的医療を行います
- 四 地域の中核病院として、地域社会の要請に応える医療を提供します
- 五 職員が意欲を持って働ける病院をめざします
- 六 次代を担う有能な医療従事者の育成をめざします
- 七 専門的ながん医療の提供に努めます
- 八 国内での医療救護活動に積極的に参加します



老人看護専門看護師ってどんな看護師？

老人看護専門看護師 加藤愛子

専門看護師って？

専門看護師は、患者さんやご家族などに対して質の高い看護ケアを行うために、特定の分野の知識や技術を備えた看護師です。認定看護師が患者さんの看護を行うのに対して、専門看護師は、患者さんの看護だけでなく、患者さんのご家族や地域と連携してケアを行ったり、人材育成なども行います。

専門看護師の分野には、がん、精神、地域など13領域の分野があり、私が認定を受けたのは老人看護専門看護師です。現在、全国で226名の看護師が認定を受け、さまざまな施設で活躍しています。

専門看護師になるには？

専門看護師になるには、看護系大学院修士課程修了者で日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準の所定の単位を取得していること、実務研修が通算5年以上あり、うち3年間以上は専門看護分野の実務研修であることが必要です。

老人看護専門看護師の役割は？

老人看護専門看護師は、病院や福祉施設で働きながら、高齢者看護のスペシャリストとして高い知識や技術を活かした看護を行うほか、高齢者本人と家族をサポートすること、担当医や保健医療福祉に関わる他の職種の方たちとの連携、他の看護職者に対し指導をしたり相談に応じること、さらには高齢者看護を通しての研究を行い、高齢者の生活の質を高めることが役割となります。

目指したきっかけは？

超高齢社会の中で入院患者さんの7割は高齢者です。当院は救急医療も担っており、救急で入院しなければならないほどの体調の変化や、入院による環境の変化などにより、高齢者は認知症のような『せん妄』症状が出現することがあります。せん妄症状の出現により、点滴を抜いたり、転倒し入院が長引いてしまったことで、退院できなくなることがあり、『どうしたらせん妄が防げるのか？』『体力が落ちてしまってもご自宅に退院する方法はないのか？』など、もっと高齢者の看護を学びたい、自分の看護を変えたいと思ったことがきっかけです。

呉市に老人専門看護師を養成する大学院があったことも、大きなきっかけとなりました。

今後の取り組み

専門看護師は取得しましたが、昨年取得したばかりの新人です。地域の活動に参加させていただき高齢者が住み慣れた地域で、その人らしく暮らしていける社会づくりを地域の皆様と一緒に頑張っていきたいです。

検査相談室をご利用ください

無料

予約不要*

何でも*

血液・尿の結果について分からない事、不安に思う事はありませんか？

検査相談室とは 「患者さんの疑問や不安を和らげ笑顔にしたい！」を目標に、2010年に検査部で開設しました。皆様が抱えておられるささやかな不安や疑問について、専任の臨床検査技師がお答えしています。

2019年の日本臨床衛生検査技師会の調査では、患者さんを対象とした検査相談室を設置している施設は約4%と少なく、**全国的にも先駆的な取り組み**といえます。



よくあるご相談

- ・この項目は何？
- ・L,Hがついているけど大丈夫？
- ・聞いたけどよく分からない



実際のお声

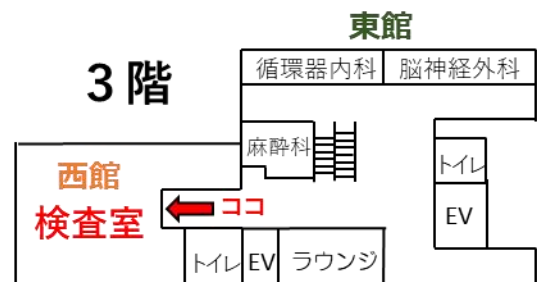
- ・丁寧な説明をありがとう
- ・一晩悩んで来たけど安心しました
- ・先生が大丈夫と言われた理由が分かりました

当院患者さんアンケート調査より（2021年）

- ・今までに検査結果について不安や疑問に思った事がありますか・・・ある32%，特にない68%
- ・機会があれば検査相談室を利用したいと思いますか・・・はい63%，分からない21%，いいえ16%
- ・当院の検査相談室をご存知ですか・・・はい8%，いいえ92%

11年間で約250件のご相談がありました。アンケート調査より患者さんへの周知が足りないため、不安や質問に十分にお答えできていないことが分かりました。

今後、更なる患者サービスの向上に努めていきたいと思えます。どうぞ気軽にお立ち寄り下さい。



場所：西館3階 検査室 時間：平日 10:00～16:30

呉共済 検査相談室

検索



※平日 10:00～16:30 に直接検査室にお越しください。

当院の血液・尿の検査結果について、診断や治療に関わる内容はお答えできない場合もあります。個人情報のため電話でのお問い合わせはご遠慮させて頂いております。

呉共済病院 検査部



国家公務員共済組合連合会 呉共済病院看護専門学校

～人の心に寄り添える自分になる～

2023 年度 入学生募集

教務課長 大亀小百合

本校は国家公務員共済組合連合会 呉共済病院に附属する3年課程(全日制)の看護師養成所です。明治37年に開校し今年118年を迎える歴史と伝統ある学校です。保健・医療・福祉施設や地域において、住民の健康の担い手として活躍できる質の高い看護師を育成することを責務としています。

各学年定員35名と少人数制で、学生と教職員がしっかりとコミュニケーションをとれるアットホームな学校です。附属の強みを活かし呉共済病院での実習も多く、院内の医師・看護師・メディカルスタッフなど各部門の専門家が授業を担当し教育体制が整っています。



呉共済病院に就職後は継続した看護教育を受け、1人ひとりが目指す看護師に成長することができます。

本校は、呉共済病院をはじめとする病院への**就職率 100%**、看護師国家試験**合格率 4年連続 100%** (2021年度全国の合格率91.3%) です！

看護に関心のある方、看護師になりたい方、本校で学んでみませんか？

入学試験について、出願方法や試験科目などの詳細は、本校ホームページをご確認ください。

試験の種類	試験日
推薦入試 (指定校) 推薦入試 社会人入試	2022年11月10日 (木)
一般入試	2023年 1月13日 (金)



学校ホームページ

【問い合わせ】 ☎ 0823-26-7425 (平日9:00~17:00)

国家公務員共済組合連合会
呉共済病院

まもりたい、あなたの明日と地域の医療。

〒737-8505 広島県呉市西中央2丁目3番28号
TEL 0823-22-2111 FAX 0823-25-4752
<https://www.kure-kyosai.jp>
発行責任者 病院長 寺坂 薫

